

JRR-2(研究炉)

米国及び我が国の民間会社により設計・建設された重水減速冷却型の研究用原子炉であり、1960年に初臨界を達成した。その後、共同利用施設として、高い中性子束を利用した各種照射実験、中性子ビーム実験、RI製造、医療照射等に利用されるとともに、多くの研究員や技術員の養成にも役立てられた。1996年に運転を停止し、1997年から解体作業を開始した。現在、原子炉本体を密閉管理している。



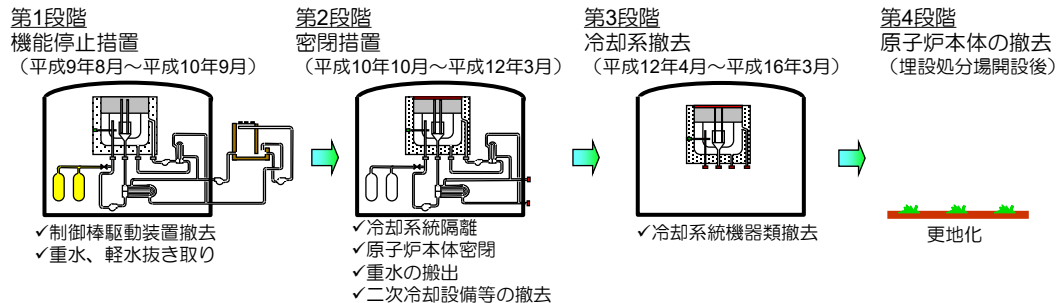
施設概要

型式：	重水減速・冷却、45%濃縮ウラン
出力：	10MWt
使用：	中性子ビーム実験、照射試験、RI製造等
運転：	1960年～1996年

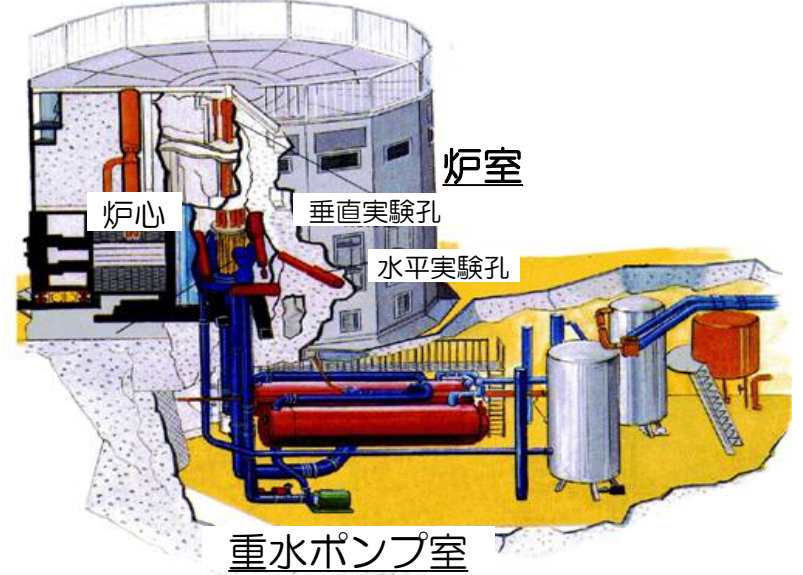
解体工程

年度	H8	H9	H10	H11	H12～H15	H16～	必要年数				
							3.5	2	2	2	
JRR-2原子炉	運転	▲解体届提出(H9.5)				▲廃止措置計画の認可(H18.11)	▲埋設施設の運用開始				▲解体完了
原子炉本体及び原子炉建屋等以外の施設・設備の解体		■原子炉の機能停止及び冷却材の抜取り	■原子炉本体の密閉措置		■原子炉冷却系統施設の解体						
原子炉本体の維持管理											
原子炉本体及び原子炉建屋等の解体							■原子炉本体撤去	■原子炉建屋設備・設備撤去	■施設・設備撤去	■建屋解体	

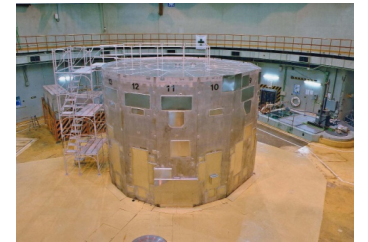
解体概要



原子炉本体



炉室



原子炉本体の密閉管理



重水ポンプ室



機器撤去後の重水ポンプ室